

松江市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観 8

— 月照寺 — ～松江市景観計画に指定する展望地～

月照寺は松江藩主松平家の菩提寺であり、境内には初代直政公から九代斉貴公までの廟が並びます。門をくぐり正面に見えるのが、松江のお茶文化を広めた大名として知られる七代治郷(不味)公の廟です。この廟門は、松江の名工小林如泥の作で、飾りのブドウの透かし彫りなどが見事です。廟門左側に立つと、木々の合間から松江城天守を望むことができます。また、毎年6月には約3万本の紫陽花が咲き誇ることから「山陰の紫陽花寺」とも呼ばれ、多くの人に親しまれています。

しっとりとした梅雨の時期、松平家歴代のお殿様に思いをはせながら、青や紫の花に彩られた月照寺をゆっくりと歩いてみてはいかがでしょうか。



現在、あなたの好きな松江の景観を募集しています。たくさんのご応募お待ちしております。(メ切6月30日)

【お問い合わせ】景観政策室 ☎55-5387 FAX:55-5552 E-mail:keikan@city.matsue.lg.jp

松江の景観400選

検索